

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

☆岩沼市の古墳時代 その3



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第42号

2025年 7月 3日発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)

TEL : 0223 - 25 - 2302

これまでの通信
はこちらから！



古墳時代の特集の最後となる今回は「集落」について特集します。岩沼市内の古墳時代の遺跡には、墳丘をもつ前方後円墳や円墳、丘陵の斜面に穴を開けて墓室を設けた横穴墓などがありました。古墳時代になると、やや小高くなった丘の上などにまとまって生活するようになり、その生活の跡（集落遺跡）が市内各地で発見されています。中でも長岡丘陵には、集落遺跡をふくめて、多くの遺跡がとなり合って位置しています。今回は市を代表する集落遺跡である北原遺跡を紹介します。

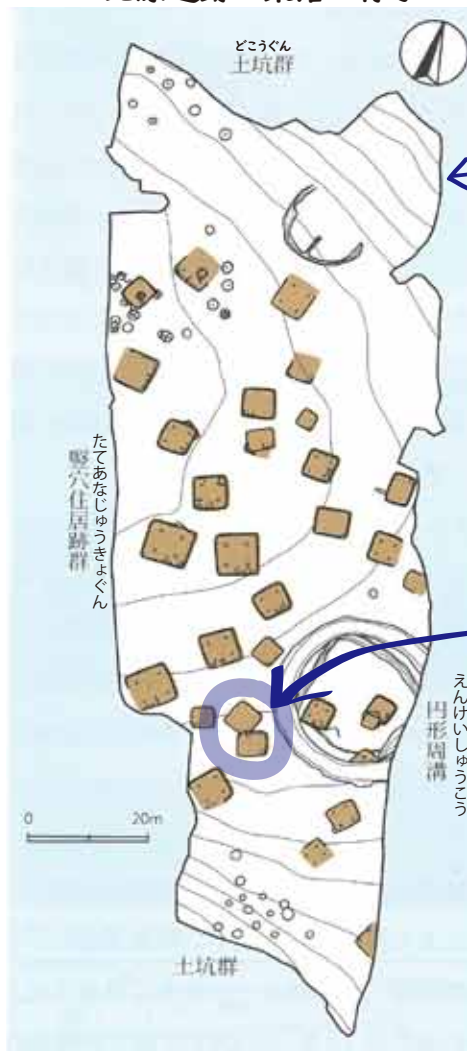


現在の北原遺跡の様子



中央の道路が県道仙台岩沼線
小高くなった道路の左側が遺跡
(*南から撮影)

北原遺跡の集落の様子



長岡丘陵
周辺の様子

☆ここがポイント!☆

- 北原遺跡から古墳時代前期の住居の跡が多く発見され、一部は重なっていたことから、住人を変えながら集落が長く続いたことが分かった。
- 北原遺跡がある長岡丘陵（上図の赤線内）には他の遺跡もあり、同じ特徴の住居や土器が見つかったことから集落が広く展開したことが分かった。

土器などの一部は、展示室にあります。
ふるさと展示室にぜひお越しください。

北原遺跡で出土した土器（土師器）

